

# 令和元年度文化庁日本語教育大会・東京大会 日本語教育テーマ別実践報告会【第1分科会】

Can-do Statementsから始まる  
これからの学習, 評価, そして実践  
～介護, 就労, 「生活者としての外国人」に対する  
活用事例から～

司会：島田めぐみ  
2019年9月8日

## 趣旨説明

現在, 文化審議会国語分科会では, 日本語教育の標準として  
「日本版CEFR」(仮)の策定が進んでいる

言語教育における標準・枠組みは,  
CDSで記述されることが多い

「日本版CEFR」もCDSで記述されると  
考えられる



CDSの開発・活用を行なっている先進的な事例をご報告いただき, 活  
用事例, 成果・課題からCDS活用の可能性を見出す

# CDS とは

- CDS とは？

- 「ラジオの天気予報を聞いて明日の天気がわかる」のように  
どのようなことが外国語でできるかを記述したもの

- なぜ今CDS？

- **CEFR**（ヨーロッパ言語共通参照枠）では、各レベルがCDSにより記述されている
- **学習者主体**の教育につながる

---

## CEFRのCds ーテレビや映画を見ることー

- C1：相当数の俗語や慣用表現のある映画が理解できる。
- B1：話し方が比較的ゆっくりと、はっきりしていれば、インタビュー、短い講演、ニュースレポートなど本人の関心事である話題について、多くのテレビ番組の内容をおおかた理解できる。
- A2：映像と実況説明がほとんど重なるならば、出来事や事故を伝えるテレビのニュース番組の要点が分かる。

吉島・大橋訳・編（2004：75）

⇒ レベルイメージがもてる

## 日本語能力試験 1 級 (2009年まで) 認定基準

高度の文法・漢字（2,000字程度）・語彙（10,000語程度）を習得し、社会生活をする上で必要な、総合的な日本語能力。

（日本語を900時間程度学習したレベル）

『平成18年度日本語能力試験分析評価に関する報告書』より

## 日本語能力試験N1 (2010年から) 認定の目安

幅広い場面で使われる日本語を理解することができる

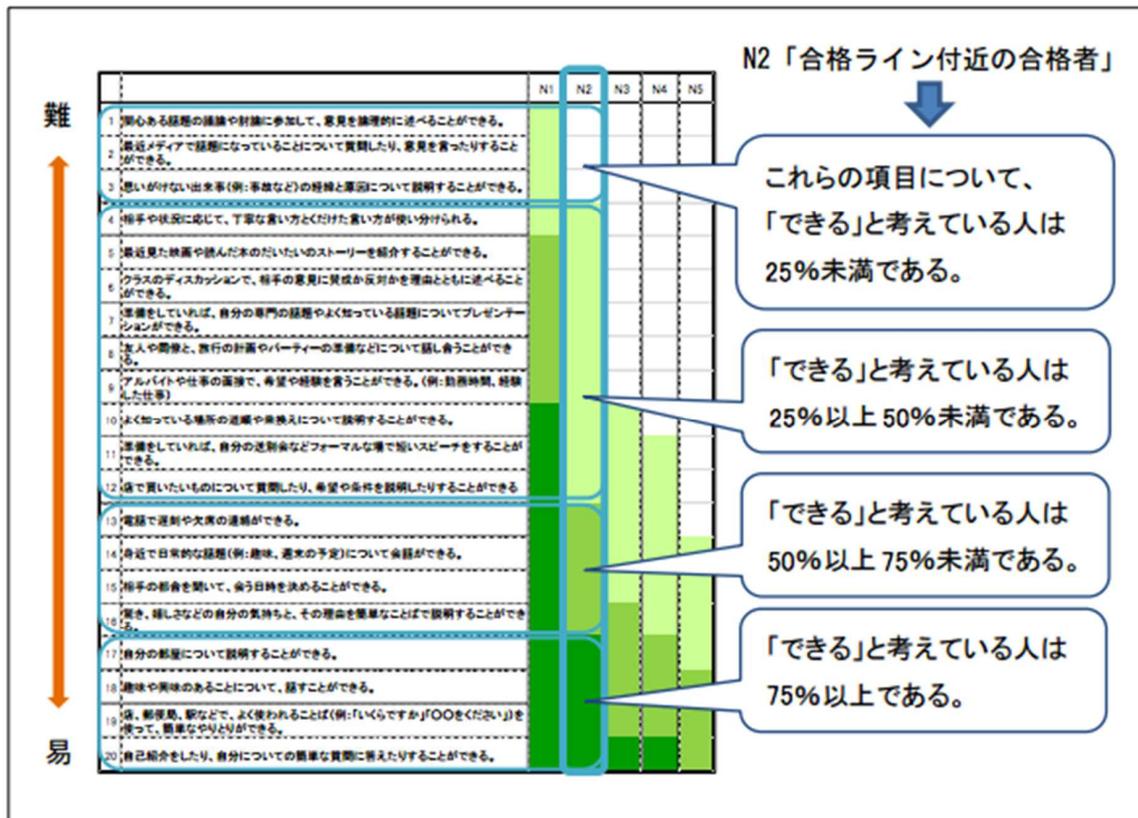
【読む】

・幅広い話題について書かれた新聞の論説、評論など、論理的にやや複雑な文章や抽象度の高い文章などを読んで、文章の構成や内容を理解することができる。

・さまざまな話題の内容に深みのある読み物を読んで、話の流れや詳細な表現意図を理解することができる。

日本語能力試験Webページ

<https://www.jlpt.jp/about/levelsummary.html> より



# 使用目的による分類

## とよた日本語学習支援システム

試験や評価システム尺度の記述に利用

例： JLPT， JFスタンダード

介護の日本語Can-Doリスト，  
就労のためのCDS

専門日本語の能力記述に利用

例： ビジネス日本語（葦原ほか2014）  
アカデミック日本語（TUFS Webページ）

教育機関のレベルや基準の記述に利用

例： 東京学芸大学（島田ほか2009）

授業科目の目標の記述に利用

（自己評価，ピア評価に使用）

# CDS開発のポイント

背景

どのようにCDS項目を作るのか

どのようにリスト（尺度）を構築するのか

誰がどのように利用するのか

# 登壇者紹介

## 谷山 慎一氏（YAMASA言語文化研究所）

- 品質に基づいた就労を目的とする日本語学習支援

## 西郡 仁朗氏（首都大学東京）

- 介護福祉の日本語

## 入江 友理氏（名古屋大学）

- とよた日本語学習支援システム

---

# 引用文献

- 葦原恭子・小野塚若菜（2014）「高度外国人材のビジネス日本語能力を評価するシステムとしてのビジネス日本語Can-do statementsの開発ーBJTビジネス日本語能力テストの測定対象能力に基づいてー」『日本語教育』157, 1-15
- 島田めぐみ・野口裕之・谷部弘子・斎藤純男（2009）「Can-do statementsを利用した教育機関相互の日本語科目の対応づけ」『日本語教育』141, 90-100
- 東京外国語大学留学生日本語教育センターホームページ  
<http://www.tufs.ac.jp/common/jlc/kyoten/development/ajcan-do/gaiyo/index.html>（2019.8.27閲覧）
- 吉島茂・大橋理枝訳・編『外国語の学習，教授，評価のためのヨーロッパ共通参照枠』朝日出版社